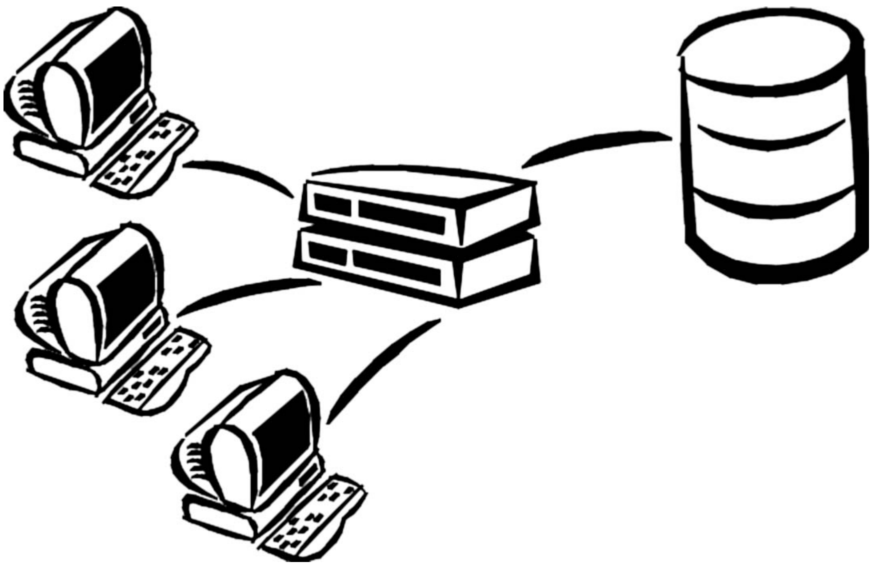
B5FY-3391-01 Z0

ハードディスクユニット-120GB(LAN)
FMHD-12L



オンラインマニュアル

FUJITSU

はじめに

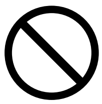
このたびは、FMHD-12L をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、FMHD-12L（以下、本装置）をご使用になられる方に、本装置の正しい操作および取り扱いかたをご理解いただくために書かれています。
万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

2002 年 11 月

安全にお使いいただくために

本装置を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方への危害や財産への損失を未然に防ぐために、この項の記載内容を十分にご理解のうえ、必ずお守りいただきますようお願いいたします。

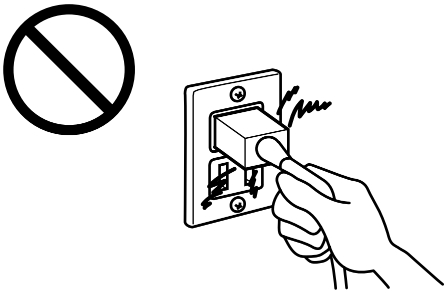
⚠ 警告	この表示のある欄は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠ 注意	この表示のある欄は、「誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

	この表示のある説明は、それが「禁止の行為」であることを告げるものです。
	この表示のある説明は、それが「必要な行為」であることを告げるものです。

⚠警告

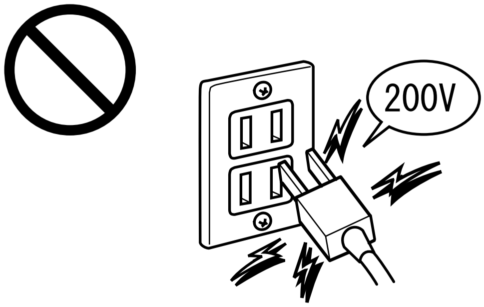
電源コードは強く引っ張らない。

コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源はAC100V以外使用しない。

故障や火災・感電の原因になります。



本機に水などをこぼさない。

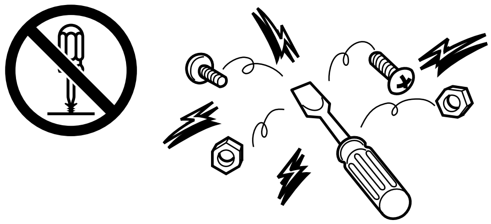
故障や火災・感電の原因になります。



★水などをこぼした場合は使用を中止し、電源を切って、電源プラグを抜いてください。技術的なご相談、修理に関しては「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へ。

絶対に分解・修理・改造などしない。

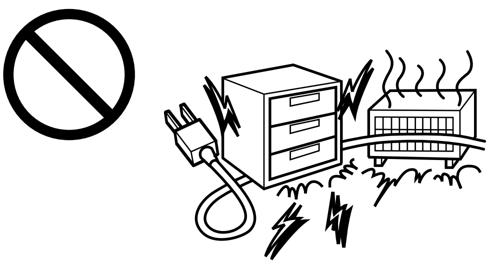
故障や火災・感電の原因になります。



★技術的なご相談、修理に関しては「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へ。

電源コードに重いものを載せたり、熱器具を近づけたりしない。

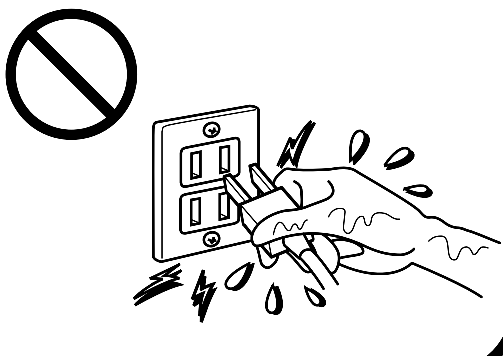
故障や火災・感電の原因になります。



★技術的なご相談、修理に関しては「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へ。

ぬれた手で電源プラグに触らない。

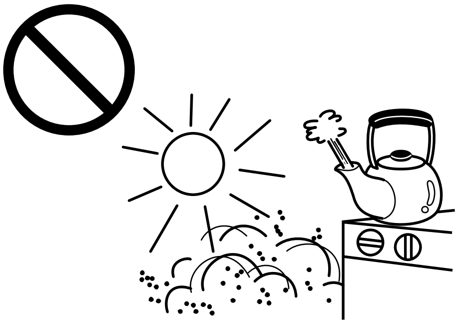
感電によるケガや故障の原因になります。



⚠注 意

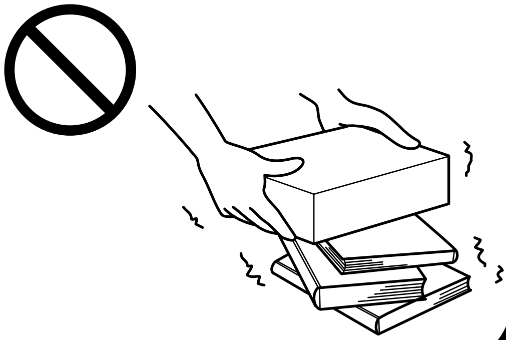
湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所に置かない。

故障や火災・感電の原因になります。



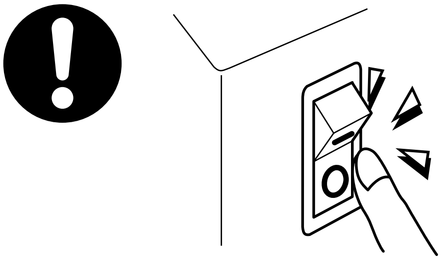
縦置きしたり、不安定な場所に置かない。

落ちる倒れるなどケガや故障の原因になります。



本機を移動・接続するときは、電源スイッチを切る。

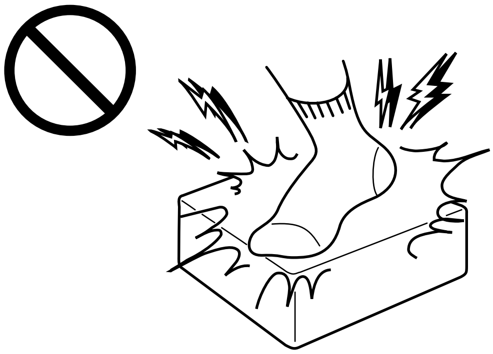
電源を入れたまま移動・接続すると、
故障や感電の原因になります。



★ ただし、本機がアクセス中の場合は、
電源を切らないでください。

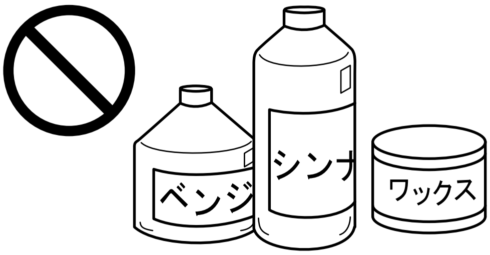
本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない。

故障や火災・感電の原因になります。



化学薬品で手入れをしない。

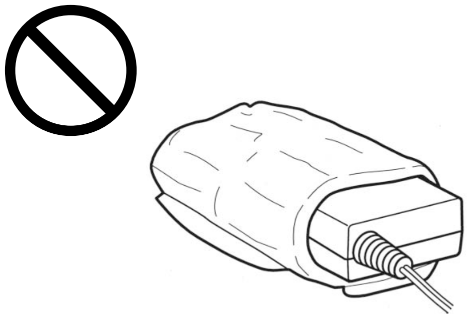
変質したり、塗装などがはげる場合があります。



★化学ぞうきんを使用するときは、
その注意書きに従ってください。

ACアダプタを物でくるまない。

熱がこもり故障や火災の原因になります。



リサイクルについて

本装置の廃棄について

本装置を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
なお、本装置を使用していた状態のまま廃棄すると、ハードディスク内の情報を第三者に見られてしまう恐れがあります。廃棄するときは、すべてのドライブのデータを削除することをお勧めします。
ただし、ファイルを削除しただけでは、悪意を持った第三者によってデータが復元される可能性があります。機密情報や見られたくない情報を保存していた場合には、復元されないようにすることをお勧めします。
データの完全消去に関しては、本装置はハードディスク全面にランダムデータを複数回書き込むことによりお客様のデータを消去する機能を有しています。また、当社にて法人・企業のお客様向けの「データ完全消去サービス（有料）」を提供しております。詳細は本装置購入先の担当営業またはストレージ統合サービス（http://storage-system.fujitsu.com/jp/service）までお問い合わせください。
なお、法人・企業以外のお客様はご利用できません。

■法人・企業のお客様へ

本装置を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は「富士通リサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますので、ご利用ください。

■個人のお客様へ

本装置を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規制に従ってください。

富士通リサイクルシステムについて

当社では平成 10 年より、法人・企業のお客様から廃棄されるコンピュータ周辺機器を「富士通リサイクルシステム」（有料）にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。
お問い合わせ／お申し込み先：富士通リサイクルシステム（http://eco.fujitsu.com/info/eco19990827.html）をご参照ください。
なお、法人・企業以外のお客様はお申し込みできません。

お問合せについて

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご相談ください。

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口：0120-950-222（フリーダイヤル）

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。
- 営業時間 9:00 〜 17:00（土・日・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、ハードディスクの内容が修理前とは異なり、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとって保管しておいてください。
- 本装置の補修用性能部品（性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 5 年間です。

VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

耐用年数について

本製品を安定した状態でご使用になれる期間（耐用期間）は 5 年または 12000 時間のいずれか早い方です。これは以下の条件でご利用いただいた場合を想定しています。
耐用期間は、設置環境、使用頻度により大幅に変動します。

- 1 日 8 時間、月当り 200 時間の使用
- 使用環境温度 25 ℃

有寿命部品について

お客様の使用環境や使用時間により、保守サポート期間内に交換が必要となる定期交換部品があります。これらの部品は有償にて交換を行います。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

データのバックアップについて

本装置に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2002
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

目次

Memo

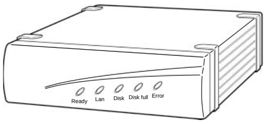
1

第 1 章

FMHD-12L について

1 FMHD-12L の機能

FMHD-12L（以下、本装置）では、複数の LAN ユーザが本装置に格納されたデータを共有できます。本装置は、Windows をサポートしています。



本装置の機能

■ 簡単な LAN の接続（10/100Base-TX）

10/100Base-TX 自動識別の LAN 接続機能により、面倒なディップスイッチの設定は必要ありません。

■ Windows のサポート

クライアントには、Microsoft Windows PC（Windows 98/Me/NT4.0（workstation）/2000（Professional）/XP（Home Edition/Professional））をサポートしています。

■ OS ツールを使用したファイル管理

お使いのコンピュータから本装置にアクセスできるようになると、OS が提供する使い慣れたツールを使用してフォルダやファイルを管理できます。例えば、本装置を追加された 1 台のドライブとして、Windows エクスプローラやマイコンピュータから参照できます。

■ DHCP クライアントのサポート

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバは、クライアントからの要求により、コンピュータや他のホストに対して動的に IP アドレスを提供します。要求元ホストは、DHCP クライアントと呼ばれます。本装置は、DHCP クライアントとして使用できます。

■ 複数セグメントの LAN のサポート

ルータがある場合、他の LAN セグメント上のコンピュータからも本装置を使用できます。

■ 簡単なセットアップ

本装置を簡単に設定できる NetworkHDD Setup ユーティリティを用意しています。

■管理者による管理、運用

管理者は、次のように本装置を管理、運用できます。

アカウント	各アカウントは、それぞれにパスワードを持ち、本装置へアクセス可能です。
グループ	グループは、アカウントで構成されます。アカウントは、複数のグループに所属できます。
共有フォルダ	共有フォルダは、アカウント / グループがアクセスできる本装置上のフォルダ（ディレクトリ）です。管理者のみが共有フォルダを作成できます（アカウントは共有フォルダ内のフォルダを作成できます）。
アクセス権	共有フォルダへのアクセスは、「読み取り専用 :Read-only」または「読み書き :Read-Write」です。管理者は、すべてのアカウントグループの共有フォルダへのアクセスを禁止することもできます。管理作業を軽減するため、共有フォルダへのアクセスは個々のアカウント単位ではなく、グループ単位に設定します。
リモート管理	管理者は、Web ブラウザを使用して本装置を管理できます。

■データバックアップ機能

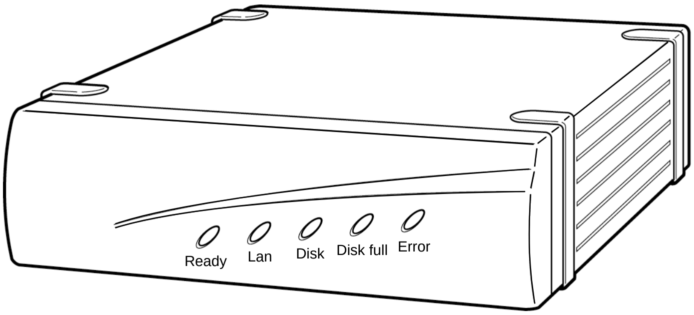
本装置のデータをスケジュール（毎日、曜日毎等）管理により、自動でバックアップすることが可能です。バックアップモードは、フルバックアップモード・差分バックアップモード等を選択して設定することが可能です。バックアップ先は LAN 上の他のパソコンやハードディスクユニットにすることができます。

■データ消去機能

本装置のデータを消去する機能により廃棄時のデータ流出を防ぐことが可能です。

■アカウントデータインポート機能

CSV 形式で作成したアカウントリスト（ユーザ名リスト）を本装置にインポートすることが可能です。

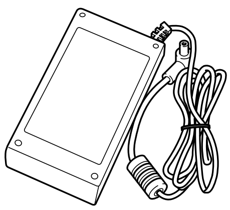


2 パッケージ内容

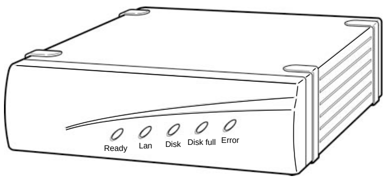
本装置の同梱品は、次のとおりです。パッケージの内容をご確認ください。

・FMHD-12L 本体
・AC アダプタ
・電源ケーブル
・盗難防止用ブラケット
・CD-ROM
　CD-ROM には、本取扱説明書のオンライン版と NetworkHDD Setup ユーティリティが含まれています。
・取扱説明書
・保証書

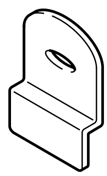
上記の同梱品のいずれかが破損または不足している場合は、ご購入元にご連絡ください。



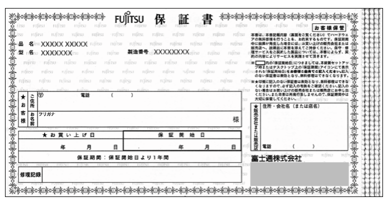
AC アダプタ



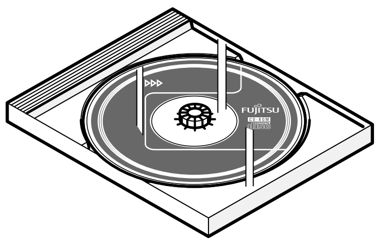
本体



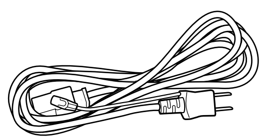
盗難防止用ブラケット



保証書



CD-ROM



電源ケーブル



取扱説明書

3 システムの必要条件

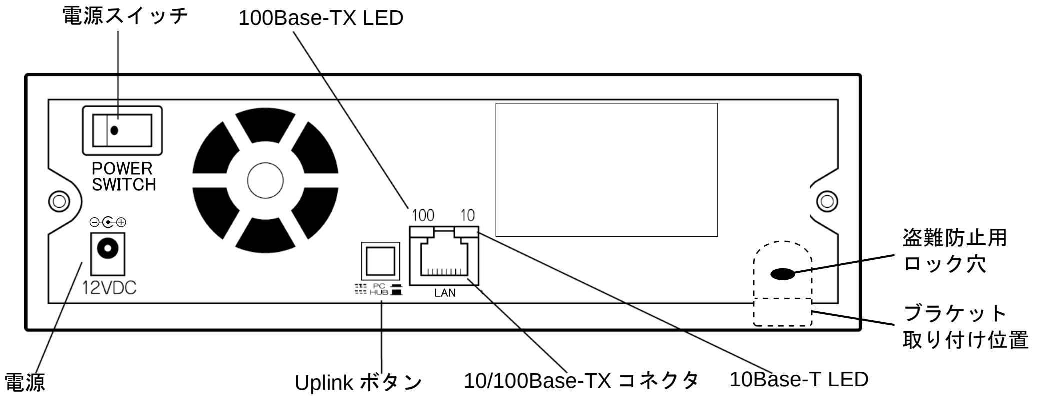
・10Base-T または 100Base-TX を使用するイーサネットネットワーク
・TCP/IP プロトコル

次のクライアントコンピュータをサポートしています。マルチ CPU には対応していません。
・Windows 98/Me/NT4.0（workstation）/2000（Professional）/XP（Home Edition/ Professional）を使用する PC

4 FMHD-12L のコネクタとスイッチ

本装置のすべてのコネクタとスイッチは、背面パネルにあります。

背面パネル



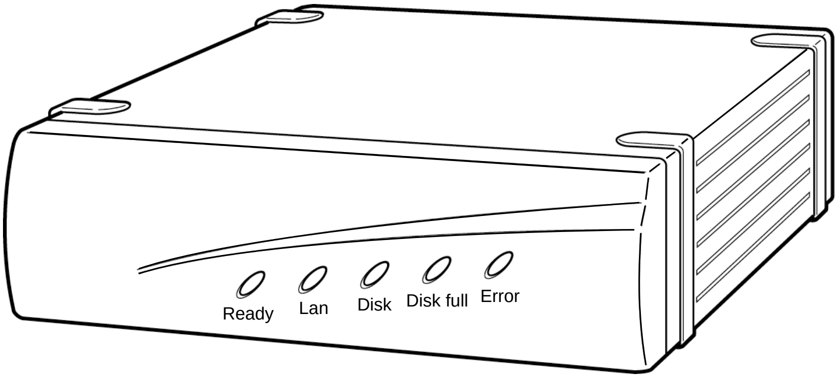
電源	付属の AC アダプタを接続します。
電源スイッチ	オフのときは、一度押すとオンになります。手を離すと元の位置に戻ります。 オンのときは、一度押すと本装置のシャットダウンが始まります。 シャットダウン中は、Ready LED が点滅します。

POINT

- システムが応答しなくなりシャットダウンできない場合は、4 秒以上押したままにすると電源をオフにすることができます。
- 電源をオフにした直後にオンにする場合は、4 秒以上経過してからオンにしてください。

Uplink ボタン	通常の接続（ハブ接続）では、このボタンを上げたままにします。 PC の LAN ポートへ直接接続する場合は、このボタンを押してください。
10/100Base-TX コネクタ	このコネクタを使用し、お使いの 10Base-T または 100Base-TX の PC の LAN ポートやハブに本装置を接続します。
100Base-TX LED	(橙色) 10/100Base-TX コネクタで 100Base-TX を使用している場合に点灯します。
10Base-T LED	(緑色) 10/100Base-TX コネクタで 10Base-T を使用している場合に点灯します。
盗難防止用ロック穴	添付の盗難防止用ブラケットを挟んで、盗難防止用ワイヤーを取り付けてください。

前面パネル（LED）



■ステータス LED

本装置の前面パネルには、次の 5 個のステータス LED があります。

Ready	通常は点灯です。 起動時とシャットダウン時に点滅し、シャットダウンが完了すると消灯します。
Lan	通常動作時、データが LAN 経由で転送または受信されたときに点灯します。
Disk	本装置にアクセス（読み取りまたは書き込み）があるときに点灯します（起動時はしばらく点灯したままになります）。
Disk Full	通常は消灯です。 ハードディスクの使用率が 98% を超えると点滅します。 空きハードディスク容量がなくなると点灯します。
Error	（橙色）通常は消灯です。 自己診断時に点灯します。自己診断が完了すると消灯します。 ソフトウェアのアップグレード中は、Ready LED と Error LED がともに点滅します。

各ステータス LED の表示組み合わせによる装置の状態は、次の表のとおりです。

状態	Ready	Disk Full	Error	備考
起動失敗	点灯	点灯	点灯	強制電源断（電源スイッチ 4 秒長押し）後、再起動してください。
起動時ファイルシステムチェック	点滅	点滅	消灯	異常終了後の起動ではチェックに数時間かかる場合があります。
正常起動	点灯	消灯	消灯	
シャットダウン中	点滅	消灯	消灯	
スキャンディスク中	点滅	点滅	消灯	
データバックアップ中	点滅	点滅	消灯	
データ消去中	点滅	消灯	点滅	
Disk 使用領域 98% 以上	点灯	点滅	消灯	

重 要

Error LED が点灯したままの状態が続く場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へご連絡ください。

ブザー

ブザーは、次のように鳴動します。

1 回	電源スイッチが押されたときに鳴ります。
2 回（5 秒おきに 4 回繰り返し）	本装置は、DHCP クライアント設定でご使用の場合に、DHCP サーバがこの DHCP クライアントの要求に応答しない場合に鳴ります。
3 回（15 秒おきに 3 分間繰り返し）	ハードディスクの使用量が 98% を超えると鳴ります。
5 回（15 秒おきに 3 分間繰り返し）	オーバーヒートです。最初のブザーの 3 分後に自動的にシャットダウンが始まります。

第 2 章

設置と初期設定

1 FMHD-12L の設置

重 要

本装置を縦置きにしないでください。
転倒した場合など、ケガや故障の原因となります。

1 LAN ケーブルを接続します。

・LAN ケーブルで、本装置をお使いの PC またはハブに接続します。富士通製別売カテゴリ 5 ツイストペアケーブルをお使いください。
・本装置は、10Base-T と 100Base-TX、全二重と半二重を自動的に認識します。

重 要

LAN ケーブルを接続するときは、必ず本装置の電源を切ってください。
電源を切らずに接続すると、誤動作の原因となります。

2 電源を接続します。

1. 付属の AC アダプタを使用し、電源コンセントに接続します。
2. 背面の電源スイッチをオンにします（スイッチを一度押して手を離します）。

3 起動プロセスをチェックします（通常は約 40 秒で起動します）。

1. 自己診断中（2 ～ 3 秒）に Ready、Error、Disk Full の各 LED が点灯します。
2. 次に、本装置の起動中に Ready LED と Disk Full LED が点滅します。
3. 起動プロセスが完了すると、Ready LED が点灯、Error LED が消灯します。

POINT

停電や強制的な電源切断後の起動の場合にはディスクチェックを行うため、起動に時間がかかることがあります。また、初期状態では IP アドレスは DHCP サーバから取得する設定のため、ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合には、起動に約 120 秒かかります。

POINT

DHCP サーバが存在しない場合には、IP アドレスはデフォルト値の 192.168.0.2 に設定されます。

2 セットアップ手順

基本的な操作の場合、次の手順で設定が完了します。
本装置の管理の詳細な設定に関しては、「第 3 章　運用と管理」を参照してください。

ソフトウェアのインストール

1 **お使いの PC の CD-ROM ドライブに付属 CD-ROM を挿入します。**

2 **NetworkHDD Setup ユーティリティのインストーラーが自動的に起動します。**
（NetworkHDD Setup ユーティリティが自動的に起動しない場合は、ルートディレクトリの SETUP.EXE を実行します。）

3 **画面に従い、NetworkHDD Setup ユーティリティをインストールします。**

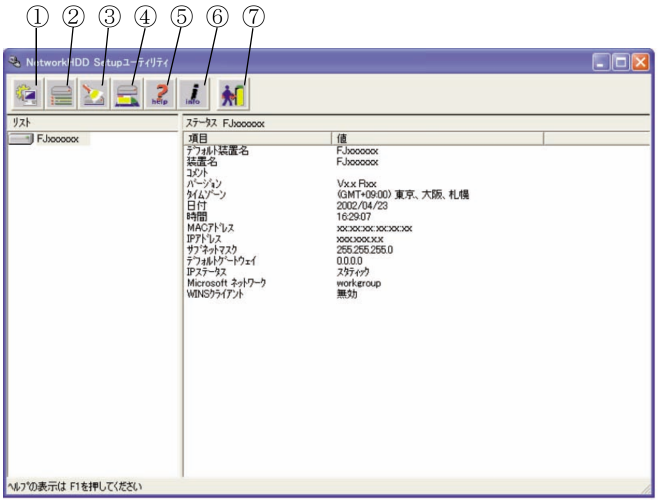
NetworkHDD Setup ユーティリティの使用によるセットアップ

1 プログラムを起動します。

デフォルトインストールの場合、［スタート］→［プログラム］→［NetworkHDD］→［NetworkHDD Setup ユーティリティ］を実行します。

2 画面が次の例のように表示されます。

左側のパネルにすべての本装置の装置名が一覧表示されます。右側のパネルには、現在選択されている装置の情報が表示されます（本装置の装置名が一覧表示されない場合は、「第 7 章　トラブルシューティングと FAQ」を参照してください）。



①基本設定	本装置の基本設定を行います。装置名、IP アドレスの設定など、基本的な設定を行うことができます。
②リフレッシュ	再度検索し、ネットワーク上のすべての本装置を表示します。
③検索	リストにない本装置を検索します。この機能は、ルータが設置されていて、LAN内に複数のセグメントが存在するネットワーク用に用意されています。
④管理（Web ブラウザ）	Web ブラウザを起動し、本装置の詳細設定を行うことができます。
⑤ヘルプトピックの表示	ヘルプを表示します。
⑥バージョン情報	バージョン情報（NetworkHDD Setup ユーティリティのバージョン）を表示します。
⑦終了	このアプリケーションを終了します。

3 左側のパネルでセットアップする本装置の装置名が選択されていることを確認し、①の［基本設定］アイコンをクリックします。

4 設定画面が次のように表示されます。





5 この画面で次のように設定します。

■装置関連

装置名	現在の装置名が表示されています。必要に応じてこれを変更できます。 **重 要** 同一ネットワーク内に同じ名前の装置名を使わないでください。
コメント	コメント（本装置の場所など）はオプションです。
タイムゾーン	一覧からタイムゾーンを選択します。
日付 / 時間	日付と時間を入力します。

■TCP/IP 関連

自動的に IP アドレスを取得する（DHCP クライアント）	LAN 内に DHCP サーバがある場合は、この設定を有効にできます。これにより本装置は、DHCP サーバから IP アドレスを取得します。LAN 内に DHCP サーバがない場合は［IP アドレスを指定する］を選択してください。
IP アドレスを指定する	このオプションを選択して IP アドレスを入力します。
IP アドレス	LAN 内のホストが使用できる IP アドレスの範囲の中から、自由に IP アドレスを入力します。本装置のデフォルト IP アドレスは、192.168.0.2 です。
サブネットマスク	LAN 内の他のホストと同じ値を使用します。本装置のデフォルト値は、255.255.255.0 です。
ゲートウェイ	LAN 内の他のホストと同じ値を使用します。ルータまたはインターネットゲートウェイがない場合は、ここはデフォルト値（空白）のままとします。

■Microsoft ネットワーク関連

ワークグループ名	通常このワークグループ名は、LAN 内のコンピュータが使用するワークグループ名と同じにします。
WINS を有効にする	LAN に WINS（Windows Internet Name Service）サーバがある場合、チェックします。
WINS サーバ	WINSサーバのIPアドレスを入力します。通常はWindows NT Serverが動作するシステムです。

6 **［OK］ボタンをクリックして設定を保存し、NetworkHDD Setup ユーティリティを終了します。本装置はこれで動作します。**

7 **アカウントの作成、共有フォルダの作成には Web ブラウザベースの Web Setup ユーティリティを使用します。これは NetworkHDD Setup ユーティリティのメイン画面の④の［管理（Web ブラウザ)］ボタンで起動できます。Web Setup ユーティリティについては「第 3 章　運用と管理」を参照してください。**

3

第 3 章

運用と管理

1 概要

管理者は、アカウント、グループ、共有フォルダを作成、管理することで、本装置の利用を管理できます。

アカウント	アカウントは、本装置を利用できるユーザです。
グループ	グループは、アカウントで編成されます。アカウントは、複数のグループに所属できます。
共有フォルダ	共有フォルダは、アカウント / グループがアクセスできる本装置のフォルダ（ディレクトリ）です。管理者のみが共有フォルダを作成できます。共有フォルダ内では、その共有フォルダへアクセスできるアカウントであれば他のフォルダ（ディレクトリ）やファイルを作成できます。
アクセス権	共有フォルダへのアクセスは、「読み取り専用 :Read-only」または「読み書き :Read-Write」です。管理作業を軽減するため、共有フォルダへのアクセスは個々のアカウント単位ではなく、グループ単位に設定できます。

共有フォルダには 1 つのグループからのみアクセスできますが、グループは複数の共有フォルダにアクセス可能です。
admin アカウントや administrator グループに追加されたその他のアカウントは、常にすべての共有フォルダとフォルダに対する「読み書き :Read-Write」のアクセスが可能です。

2 Web Setup ユーティリティ



アカウントの作成、管理は、Web ブラウザを使用した Web Setup ユーティリティでできます（「admin」アカウントのみ可能）。
Web ブラウザは、JavaScript 1.1 をサポートしていなければなりません。次の Web ブラウザがテスト済みです。

・Netscape Navigator 4.78、6.2
・Internet Explorer 5.0SP2、5.5SP2、6.0SP1

FMHD-12L への接続

■ NetworkHDD Setup ユーティリティを使用する場合

1 **NetworkHDD Setup ユーティリティを起動し、本装置の装置名を選択します。**

2 **［管理（Web ブラウザ）］ボタンをクリックします。**

3 **次にウェルカム画面が表示され、Web Setupユーティリティが起動します。**

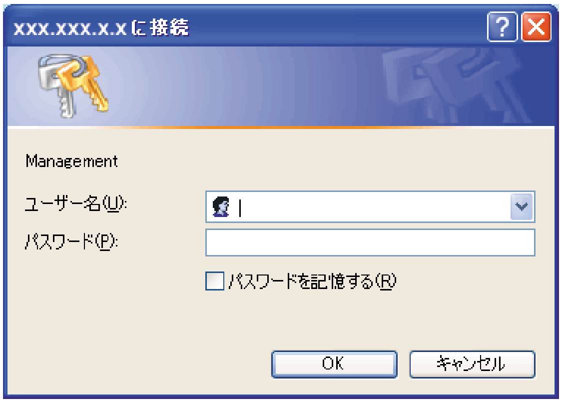


POINT

Web ユーティリティで初期画面が表示されない場合は、プロキシサーバ内でご利用の場合でも「プロキシサーバを使用しない」に本操作をするときのみ設定変更してください。

4 ［アドミニストレーション］ボタンをクリックします。

5 次のようにパスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。



［ユーザ名］に admin と入力します。デフォルトでは admin ユーザにパスワードはありませんが、パスワードを設定している場合は、ここで変更後のパスワードを入力します。

POINT

Web Setup ユーティリティによる設定は「admin」アカウントおよび administrator 権限をもったアカウントができます。他のアカウントでは Web Setup ユーティリティに入ることができません。

6 ［ユーザ名］［パスワード］を入力し、［OK］ボタンをクリックして Basic 設定 /Advanced 設定メニューに進みます。詳細は、次の「3 Web Setup ユーティリティのメニュー」を参照してください。

■ NetworkHDD Setup ユーティリティを使用しない場合

1. **Web ブラウザを起動します。**

2. **［アドレス］ボックスに次のように入力します。**

   http://<ip_address>/

   <ip_address> には、本装置の IP アドレスを指定します。

   例：http://192.168.0.2/

   POINT

   大文字と小文字は区別されますので、正確に入力してください。

3. **次にウェルカム画面が表示され、Web Setup ユーティリティが起動します。**

4. **［アドミニストレーション］ボタンをクリックします。**

5. **上記の「NetworkHDD Setup ユーティリティを使用する場合」の手順 5 に示すように、パスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。**

   ［ユーザ名］に admin と入力します。デフォルトでは admin アカウントにパスワードはありませんが、パスワードを設定している場合は、ここで変更後のパスワードを入力します。

ウェルカム画面の「共有フォルダ／ファイルの参照」および「アカウントパスワードの変更」については、第 5 章を参照ください。

3 Web Setup ユーティリティのメニュー



Basic 設定［基本設定］

■基本的な設定を行います。

・アカウント作成、共有フォルダ作成、アクセス権設定、Admin　パスワード設定、Admin 権限設定

Advanced 設定
［システム］［ステータス］［共有設定］［ユーティリティ］

■詳細な設定を行います。

・ネットワーク設定、システム設定、ユーティリティ、ステータス表示、アカウント設定、共有フォルダ設定、グループ設定　など

4 Web Setup ユーティリティの Basic（基本設定）メニュー

Basic（基本設定）メニューは、５つの項目から構成されています。アクセスの環境を整える「アカウント作成」「共有フォルダ」「アクセス権限」と、管理者関連の設定を行う「Admin パスワード」「Admin 権限」があります。

Basic（基本設定）概要

本装置をご利用する際の基本となる設定を行います。

アカウント作成 ――― アカウントを作成します。
共有フォルダ ―――― 共有フォルダを作成します。
アクセス権限 ―――― 作成済みのアカウントと共有フォルダのアクセス権を設定します。
Admin パスワード ―― “Admin” のパスワードを変更します。
Admin 権限 ――――― Administrator 権限を持つアカウントを設定します。

5 Web Setup ユーティリティの Basic（基本設定）項目

1. アカウント作成

アカウントの作成、削除を行うことができます。



アカウントリスト	全アカウントを左側にリスト表示します。 "admin" と "guest" は常に存在し、削除することはできません。
プロパティ	左のリストで選択したアカウントの情報を表示します。 新規に追加する場合は、この欄に入力して、「追加」ボタンをクリックします。

出荷時に次のアカウントが設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

admin	admin は、administrator グループのアカウントであるため、すべての共有フォルダに「読み書き :Read-Write」のアクセス権があります。 デフォルトでは、パスワードがありませんが、［4. Admin パスワード］で設定できます。パスワードを設定することをお勧めします。
guest	guest アカウントは、everyone グループのアカウントであるため、everyone グループのアクセス権を持ちます。

■新しいアカウントの追加

プロパティに他の情報が入力されている場合は、「クリア」ボタンをクリックし、プロパティ画面を空白にします。

アカウント名	アカウント名を入力します。句読点、特殊文字（例：* / | ¥）、2 バイト文字（日本語等）、半角カタカナは、使用できません。
コメント	（オプション）必要であれば入力してください。
パスワード	このアカウントのパスワードを入力します。［再入力］にも同じパスワードを入力します。

これらを入力し、［追加］ボタンをクリックして内容を保存します。作成されたアカウントは、左側のリストに表示されます。

POINT

アカウント名、パスワードは、パソコンでネットワークにログインするときにお使いのものと同一にする必要があります。

■アカウントの削除

左のリストから削除するアカウントを選択し「削除」ボタンをクリックします。

■容量制限機能

アカウントプロパティの［容量制限を有効にする］のチェックボックスをチェックし、容量を入力し、［作成］ボタンにより、容量制限機能が有効になります。

POINT

admin と *guest* は削除できません。

2. 共有フォルダ

ここでは、共有フォルダの作成、削除を行うことができます。



- 作成した共有フォルダに対してアクセス権を持つアカウントは、その下にフォルダやファイルを作成することができます。
- 「共有フォルダ」は、アカウントがアクセス可能な本装置上の共有フォルダです。

共有フォルダ名リスト　　左側にすべての共有フォルダがリスト表示されます。

プロパティ　　リストから選択した共有フォルダのプロパティが表示されます。

出荷時に次の共有フォルダが設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

ADMIN_ONLY　　ルートフォルダです。Administrator 権限を持ったアカウントがこのフォルダのコンテンツをバックアップすることで、すべてのデータがバックアップできます。
administrator グループは、常にこの共有フォルダに対する「読み書き :Read-Write」のアクセス権を持ちます。
本装置のフォルダおよびファイルを削除する場合は、Administrator 権限を持ったアカウントが、このフォルダからフォルダおよびファイルを削除できます。

PUBLIC　　ADMIN_ONLY 下のフォルダです。すべてのアカウントが常にこの共有フォルダに対する「読み書き：Read-Write」のアクセス権を持ちます。

■新しい共有フォルダの作成

以下の内容を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

共有フォルダ名	共有フォルダの名前を入力します。句読点、特殊文字（例：* / | ¥）、2 バイト文字（日本語等）は、使用できません。また次の名前は使用できません。 homes、global、printers
コメント	（オプション）必要であれば入力してください。

POINT

文字制限

本装置では、共有フォルダ内に作成されるファイル名、フォルダ名の半角で 126 文字となります。
また、パス全体の最大長は ASCII 文字の場合で 255 文字となります。

ファイル属性の継承

本装置では、フォルダの属性（読み取り専用、アーカイブ、システム、隠しファイル）は継承されません。
また、ファイル名の属性（読み取り専用、アーカイブ、システム、隠しファイル）については次のとおりです。
読み取り専用、隠しファイル属性：継承されません
アーカイブ、システム属性　：継承されます（属性の変更はそのファイルの所有者のみが可能）
通常、ファイルの所有者は装置にそのファイルを保存したユーザになります。

■共有フォルダの削除

選択された共有フォルダを「削除」ボタンをクリックして削除します。
共有フォルダ設定は削除されますが、共有フォルダに設定されていたフォルダおよびフォルダ内のファイルは削除されません。フォルダおよびファイルを削除する場合は、Administrator 権限を持ったアカウントが、ADMIN_ONLY フォルダから行ってください。

重要

データが削除されますので注意してください。

POINT

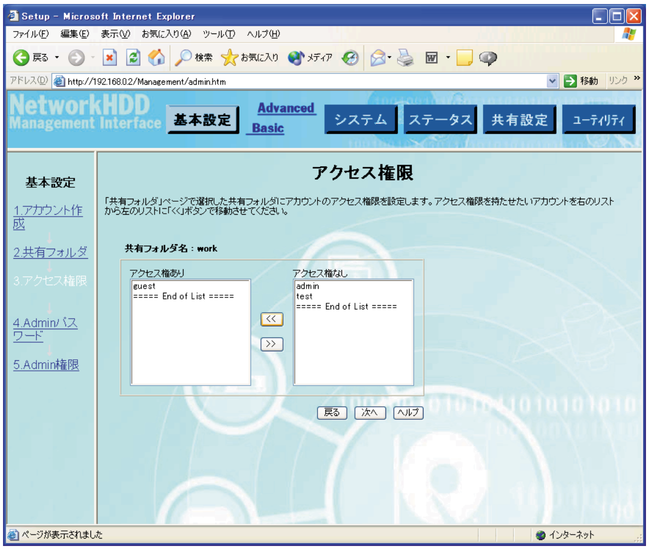
次の場合、「アクセス権限」に移動することはできません。
・ADMIN_ONLY を選択した場合
・Advanced 設定ページから、選択した共有名と同名のグループとの関連付けが、外されている場合

POINT

Advanced 設定ページで複数のグループとの関連付けが行われている場合、「アクセス権限」で表示・設定する内容は、その共有名と同じ名前のグループに関してのみです。

3. アクセス権限

作成したアカウントと共有フォルダとを関連付けます。



共有フォルダ名	選択した共有フォルダ名が表示されます。この名前は、関連付けされているグループとも同じ名前です。
アクセス権あり	アクセス権のあるアカウントをリスト表示します。
アクセス権なし	アクセス権のないアカウントをリスト表示します。

■アクセス権設定操作

アクセス権の追加	右側のリストからアカウントを選択し「 << 」ボタンをクリックします。読み書きの権利が与えられます。複数選択する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。
アクセス権の削除	左側のリストからアカウントを選択し 「 >> 」ボタンをクリックします。複数選択する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

4. Admin パスワード

ここでは、"Admin" のパスワードを変更します。

POINT

Admin は、この Web Setup ユーティリティにログインする際の特別なアカウント名です。

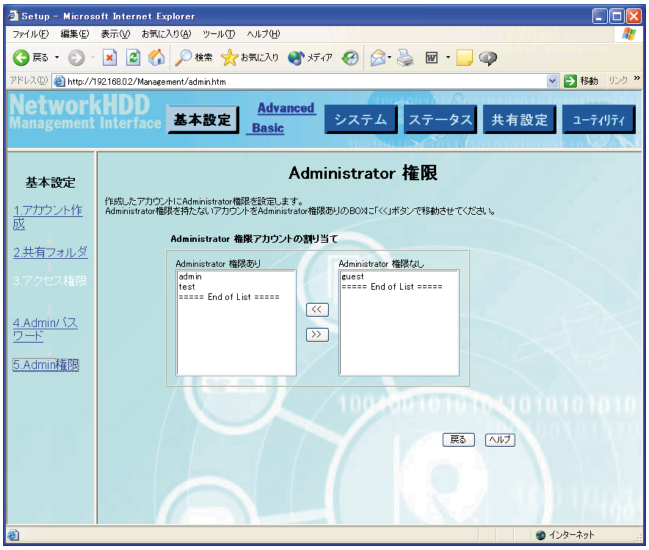


デフォルトではパスワードは設定されていません。
パスワードを設定し、不正にアクセスされないようにしてください。
現在のパスワード、新しいパスワードを 2 回入力します。新しいパスワードを設定した場合は、設定が変更されているため、再ログイン画面が表示されますので、そこで、再度パスワードを入力する必要があります。
" パスワードなし " の場合は、空欄のままにし、「保存」ボタンをクリックします。

3

5. Admin 権限

Administrator 権限を持つアカウントの設定を行います。
Administrator 権限を持つと、すべてのフォルダに「読み書き」権限でアクセスすることができます。



アクセス権の追加	右側のリストからアカウントを選択し「<<」ボタンをクリックします。複数選択する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。
アクセス権の削除	左側のリストからアカウントを選択し 「>>」ボタンをクリックします。複数選択する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

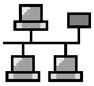
6 Web Setup ユーティリティの Advanced メニュー

Advanced のメインメニューは、4 つの設定カテゴリから構成されています。

- システム
- ステータス
- 共有設定
- ユーティリティ

設定項目概要

◆システム



■ システム設定

- 本装置の名前、タイムゾーン、日付、時刻を設定します。

■ TCP/IP 設定

- IP アドレス　IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
- DNS　DNS（Domain Name System）の IP アドレスを設定します。

■ MS ネットワーク

- Microsoft　ネットワークを設定します。ワークグループ名、言語（コードページ）、WINS（Windows Internet Name Service）を設定します。

■ FTP 設定

- FTP の設定をします。

■ E-Mail 通知

- 問題があるときに電子メールでメッセージが送信されるように本装置を設定します。

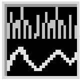
■ シャットダウン

- 本装置をシャットダウンするか、シャットダウンのスケジュールを作成します。

■ NTP 設定

・NTP（Network Time Protocol）を設定します。

◆ステータス



■ ディスク情報

・ディスク使用量をチェックします。この情報は参照のみです。

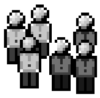
■ システム情報

・システムの状態をチェックします。この情報は参照のみです。

■ 接続情報

・MS-Network の接続情報を表示します。この情報は表示のみです。

◆共有設定



このオプションを使用して共有、アカウント、グループ、共有フォルダへのアクセスを管理します。詳細については、P.40「7 Web Setup ユーティリティの Advanced 項目」を参照してください。

■ グループ設定

・現在のグループを参照し、グループの共有フォルダへのアクセスを修正し、グループに対してアカウントを追加または削除します。また、新しいグループを作成したり、既存のグループを削除します。

■ アカウント設定

・既存アカウントの一覧を参照し、アカウントの情報を修正します。また、アカウントを作成、削除します。
ここで、アカウントごとの容量制限機能の設定も行うことができます。

■ 共有フォルダ

・共有フォルダを作成、削除、修正します。「共有フォルダ」とはアカウントがアクセスできるフォルダ（ディレクトリ）です。アクセス権は個々のアカウントに対してではなく、グループに対して設定できます。

■ GUEST 設定

・登録されていないアカウントを「guest」としてログインさせます。
（「guest」にパスワード設定されていない場合のみ有効です。）

POINT

- guest と admin の 2 つのアカウントは、削除できません。
- admin アカウントは、既存の administrator グループから削除または移動することはできません。
- デフォルトではadminアカウントにパスワードがありません。パスワードを設定することをお勧めします。
- admin アカウントと他のすべての administrator グループのアカウントには、常にすべての共有フォルダおよびフォルダに対する読み取り / 書き込みの権利があります。
- 容量制限機能とは、アカウントの使用する容量を制限することができる機能です。

◆ユーティリティ



これらのユーティリティは、通常の操作では必要ありません。

■ ディスク

- ディスクエラーのチェック機能です。

■ アップグレード

- 本装置のファームウェアをアップグレードします。

■設定バックアップ

- 設定情報をバックアップします。

■インポート

- アカウントデータをインポートします。

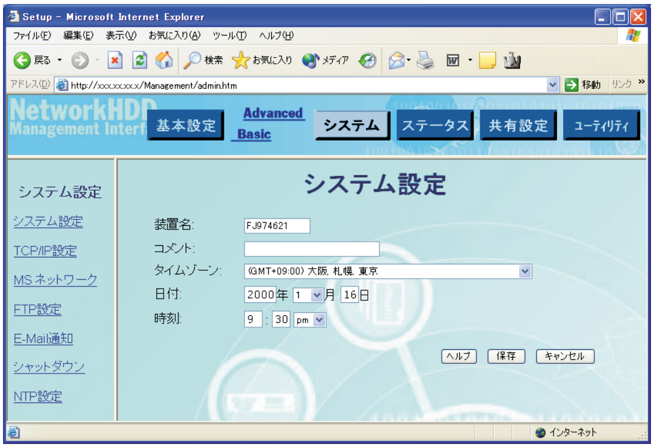
■データバックアップ

- 本装置のデータを LAN 上の他装置にバックアップします。

7 Web Setup ユーティリティの Advanced 項目

システム設定グループ

[システム設定]



本装置の基本設定を行います。本装置の装置名、タイムゾーン、日付、時刻を設定します。ファイルを正しいタイムスタンプで保存するためには、正しい日付と時刻を設定してください。

設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

■ 入力可能文字数・制限

装置名には、14byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字、およびすべてが数字の装置名は除きます。

" / ￥ [ ] : ; | = . , + * ? < > *space* ' ` ( ) # $ %

コメントには、48byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字は除きます。

" ￥ : | , '

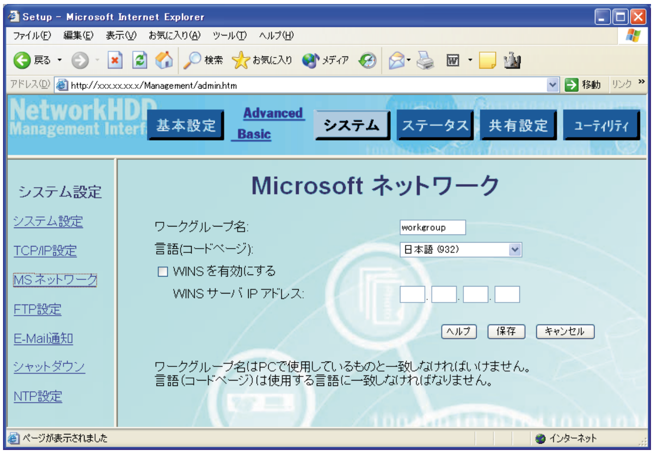
[TCP/IP 設定]



TCP/IP ネットワーク関連情報を設定します。
設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

IP アドレス	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
DNS サーバ	DNS（Domain Name System）サーバの IP アドレスを設定します。システム設定で、「E-Mail 通知」を有効にしている場合には、少なくとも 1 つの DNS アドレスを入力してください。それ以外の場合には、空白でも構いません。複数の DNS アドレスが登録されている場合は、最初に検出された DNS が使用されます。

[Microsoft ネットワーク]



Microsoft ネットワーク設定を行います。ワークグループ名、言語（コードページ）を設定します。WINS（Windows Internet Name Service）がある場合、「WINS を有効にする」をチェックし、WINS を設定します。

設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

■ 入力可能文字数・制限

ワークグループ名には、14byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字は除きます。

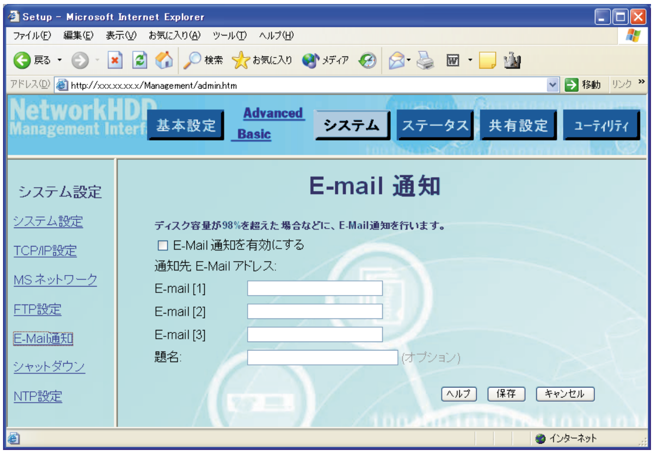
" / ¥ [ ] : ; | = . , + * ? < >

[FTP]



FTP の設定を行います。

［E-Mail 通知］



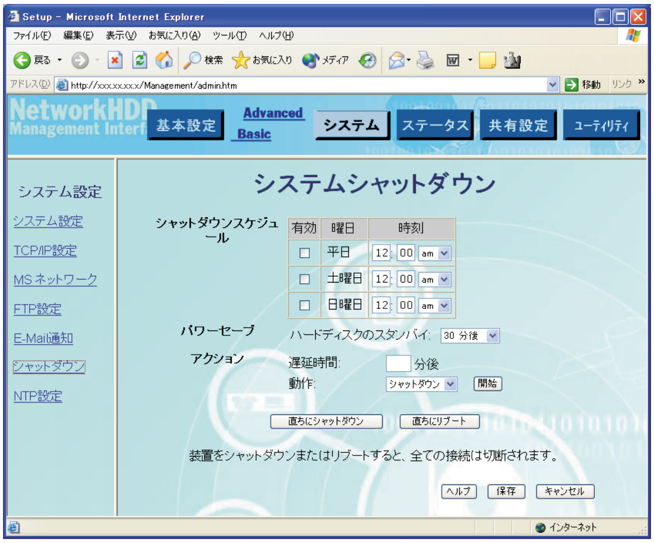
問題があるときに、本装置から電子メールでメッセージが送信されるように設定します。設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。［E-Mail 通知］を有効にすると、ディスク使用容量が 98% を越えた場合や温度異常等のときに電子メールが送信されます。
送信側となる本装置のアドレスは、administrator@<*ip_address*> です。
またデフォルトの表題はありませんので、記入しない場合は表題なしのメールが届きます。

■ 入力可能文字数・制限

アドレスには、48byte までの E-mail アドレス（ASCII 文字）が使用可能です。
ただし以下の文字は除きます。
" / ¥ [ ] : ; | = , + * ? < > ' `

3

[シャットダウン]



本装置のリブートまたはシャットダウンを行います。また、シャットダウンスケジュールを設定できます。シャットダウンを行った場合は、本装置背面の電源スイッチによって起動します。設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

シャットダウンスケジュール	シャットダウンを行うかどうか、行う場合の曜日や時間を指定します。平日(月曜日～金曜日)、土曜日、日曜日に分けて、それぞれ設定できます。
パワーセーブ	特定時間ハードディスクへのアクセスが無い場合、ハードディスクのモータの回転を止めるように設定できます。この設定をする場合は、リストから時間を選択してください。「なし」を選択した場合、常時ハードディスクのモータが回転しています。
直ちにシャットダウン／直ちにリブート	本装置のシャットダウン／リブートを行います。これらのボタンをクリックしても設定の保存は行われません。

■装置のシャットダウン

次のいずれかの方法でシャットダウンできます。

- 背面にある電源スイッチを一度押します。
- ［システム］→［シャットダウン］メニューを使用して、リモートのシャットダウン、またはスケジュールされたシャットダウンを行います。

POINT

シャットダウン中は、Ready LED が点滅します。

[NTP 設定]



NTP（Network Time Protocol）サーバによって時刻同期を行います。設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

POINT

LAN 内またはファイヤーウォール内に NTP サーバがない場合は時刻同期ができないことがあります。

NTP サーバアドレス	設定する NTP サーバのアドレスを入力します。
開始時刻	NTP サービスを開始する時刻を設定します。
同期する間隔	前回の NTP サービスから次に行うまでの間隔を設定します。
ただちに同期	ただちに時刻の同期をとります。
ステータス	“ただちに同期”ボタンをクリックした結果を表示します。

ステータス

[ディスク情報]



現在のディスクの状態が表示されます。

■ディスク情報

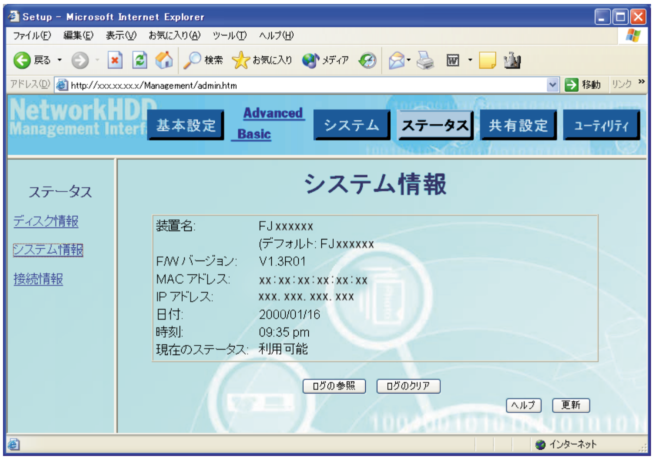
総容量	ユーザが使用可能なディスクスペースの総容量が表示されます。
使用領域	ユーザデータにより使用されているディスクスペースが表示されます。
空き領域	ユーザが使用可能な空きディスクスペースが表示されます。

POINT

利用開始時は、以下のように表示されます。
容量は 1MB=1024 × 1024Byte 換算のため 120GB より少なく表示されます。

総容量　　約 117000（MBytes）
使用領域　約　　 0.5（MBytes）
空き領域　約 117000（MBytes）

[システム情報]



本装置の現在の状態が表示されます。

■システム情報

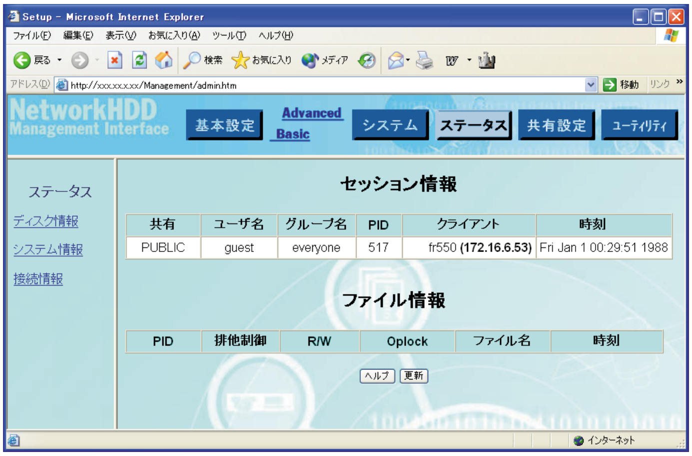
現在の装置名	システム設定で入力された現在の名前です。変更していなければ、デフォルト装置名と同じです。
デフォルト装置名	出荷時の名前です。
F/W バージョン	本装置にインストールされているファームウェアのバージョンが表示されます。
MAC アドレス	本装置のネットワークアダプタの MAC アドレスが表示されます。
IP アドレス	本装置が使用する IP アドレスが表示されます。
日付	本装置に記憶されている現在の日付が表示されます。
時刻	本装置に記憶されている現在の時刻が表示されます。
現在のステータス	現在の本装置の状態が表示されます。

■ログの参照、クリア

ログの参照	ログの参照ボタンをクリックすると別のウィンドウが表示され、システムログが表示されます。トラブルシューティングのために用意されています。
ログのクリア	ログのクリアボタンをクリックすると、ログが消去されます。

[接続情報]





MS-Network により接続している PC の情報、およびオープンしているファイルの情報を表示します。FTP で接続しているユーザは表示されません。

■接続情報

接続情報	接続情報ボタンをクリックすると、本装置にアクセスしているクライアントのセッション情報、ファイル情報が表示されます。
更新	更新ボタンをクリックすると、アップデートされたデータが表示されます。

■セッション情報

共有	アクセスしている共有を表示します。
ユーザ名	共有にアクセスしているユーザを表示します。
グループ名	ユーザが所属しているグループ名を表示します。
PID	接続のプロセス ID を表示します。

クライアント	クライアントのホスト名と IP アドレスを表示します。
時刻	クライアントがログインした時刻を表示します。

■ファイル情報

PID　接続のプロセス ID を表示します。

排他制御　排他制御の状態を表示します。

- DENY_NONE　他のファイルアクセスを拒否しません。
- DENY_ALL　すべてのファイルに対するアクセスを拒否します。
- DENY_READ　ファイルに対する read-only アクセスを拒否します。
- DENY_WRITE　ファイルに対する write-only アクセスを拒否します。
- DENY_DOS　読み込み権限でアクセスした場合、他のすべてのファイルについても読むことができますが書き込みはできません。書き込み権限でアクセスした場合、他のすべてのファイルにアクセスできません。
- DENY_FCB　不要です。

R/W　ファイルアクセスの種類を表示します。

- RDONLY　読み込みのみ可能
- WRONLY　書き込みのみ可能
- RDWR　読み書き可能

Oplock　便宜的ロック :

- Exclusive　有効であるとき、ファイルをオープンしている 唯一のクライアントであることを示します。ファイル（内容や属性）が変化し、装置にアップデートする際、ファイルがクローズするまでに得られたすべてのファイル情報、または上記のローカル情報の実行を許可します。
- Batch　ファイルをオープンしている唯一のクライアントであることを示します。キャッシュや先読みしたローカル情報のすべてのファイル操作の実行を許可します（オープン、クローズを含む）。
- LEVEL_II　ファイルに複数のアクセスがあり、修正が行われていないことを示します。クライアントにキャッシュか先読みによる、ローカル情報のファイルの読み込みと属性の取得を許可します。しかしその他のリクエストは装置に送らなければなりません。
- NONE　ロック無し。

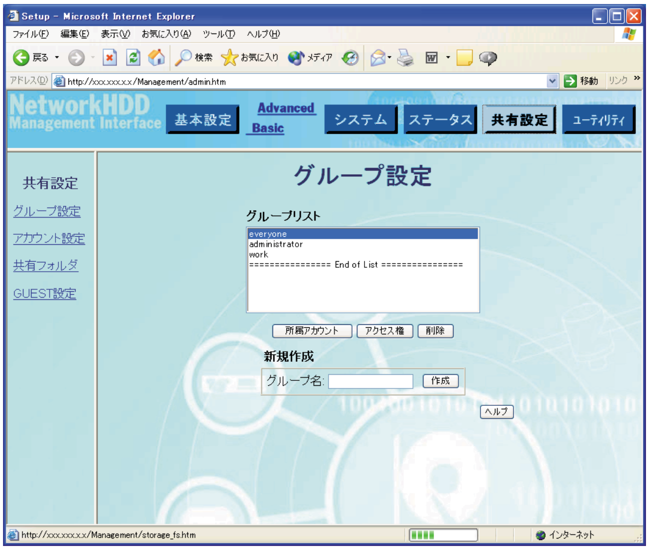
ファイル名　ロックされているファイルを表示します。

時間　ファイルがロックされた時間を表示します。

3

共有設定グループ

[グループ設定]



グループを管理します。
現在のグループを参照し、グループの共有フォルダへのアクセスを修正し、グループに対してアカウントを追加または削除します。また、新しいグループを作成し、既存のグループを削除します。

グループリスト	すべてのグループがリスト表示されます。 everyone と administrator の 2 つのグループは常に存在し、削除できません。

出荷時に次のグループが設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

everyone	このグループは、削除できません。 全アカウントがこのグループのメンバであり、このグループから除外できません。
administrator	このグループは、削除できません。 常にすべての共有フォルダに対する「読み書き :Read-Write」のアクセス権をもちます。 admin アカウントは、このグループから削除できませんが、他のアカウントを追加、削除できます。

■新しいグループの作成

［グループ設定］画面で新規作成の下のグループ名の所へ作成したいグループ名を入力、「作成」ボタンをクリックします。

ここで新しく作成したグループは、アカウントの割り当てや共有フォルダの関連付けがされていません。「所属アカウント」ボタンでアカウントを関連付けることができます。また、次に説明する［アカウント設定］［共有フォルダ］画面で、それぞれ関連付けを行うことができます。

■入力可能文字数・制限

グループ名には、20byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字は除きます。

" / ¥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' ` $ % @

■［所属アカウント］［アクセス権］［削除］［作成］ボタン

所属アカウントボタン　　選択したグループに所属アカウントの関連付けをします。※

POINT

everyone グループは、常にすべてのアカウントに割り当てられ、グループの削除はできません。

アクセス権ボタン　　選択したグループがどの共有フォルダへアクセスできるかを指定できます。※

「<<Read」をクリックすると読み取り専用、「<<R/W」では読み書きのアクセス権で設定されます。

POINT

administrator グループは、すべての共有フォルダへアクセスできます。

削除ボタン　　選択したグループを削除します。

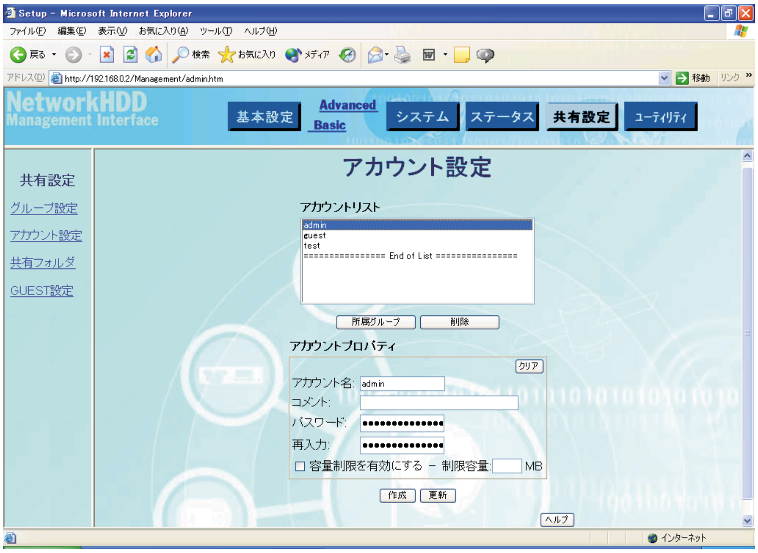
作成ボタン　　このボタンを使用すると、グループを作成できます。

※ 所属アカウントの関連付け画面、グループアクセス権画面で複数追加、削除する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

■その他の機能（検索）

グループリスト上にカーソルを置き、キーボードの文字を押すと、その文字を頭文字として持つグループにジャンプします。

[アカウント設定]



既存アカウントの一覧を参照し、アカウントの情報を修正します。また、アカウントを作成、削除します。

アカウントリスト	すべてのアカウントがリスト表示されます。 admin と guest の 2 つのアカウントは常に存在し、削除できません。
アカウントプロパティ	リストから選択したアカウントのプロパティが表示されます。

出荷時に次のアカウントが設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

admin	admin アカウントは、administrator グループのメンバであるため、すべての共有フォルダに「読み書き :Read-Write」のアクセス権があります。 デフォルトでは、admin アカウントにはパスワードがありませんが、後で設定できます。パスワードを設定することをお勧めします。
guest	guest アカウントは、everyone グループのメンバであるため、everyone グループのアクセス権を持ちます。

■新しいアカウントの作成

新しくアカウントを作成する場合は「クリア」ボタンをクリックし、以下の項目を入力します。

アカウント名	アカウント名を入力します。句読点、特殊文字（例：* / | ¥)、2 バイト文字（日本語等)、半角カタカナは、使用できません。
コメント	（オプション）必要であれば入力してください。
パスワード	このアカウントのパスワードを入力します。［再入力］にも同じパスワードを入力します。

これらを入力し、［作成］ボタンをクリックして内容を保存します。作成されたアカウントは、最初の画面の上側のアカウントリストに表示されます。

■アカウントの編集、削除

最初の画面の上側にあるアカウントリストでアカウント名を選択すると、そのアカウントのプロパティが下側に表示されます。選択したアカウントを削除、編集する場合は、それぞれ［削除］［更新］ボタンをクリックしてください。

POINT

admin と guest の 2 つのアカウントは、削除できません。

■容量制限機能

アカウントプロパティの［容量制限を有効にする］のチェックボックスをチェックし、容量を入力し、［作成］ボタンにより、容量制限機能が有効になります。

■グループを関連付ける

選択したアカウントに対して、グループを関連付ける場合は［所属グループ］ボタンをクリックします。



このグループに選択したアカウントを追加するには、右のリストからグループを選択し、［<<］ボタンをクリックします。
既に所属しているグループから除外する場合は、左のリストからグループを選択し、［>>］ボタンをクリックします。

■その他の機能（検索）

アカウントリスト上にカーソルを置き、キーボードの文字を押すと、その文字を頭文字として持つアカウントにジャンプします。

■入力可能文字数・制限

アカウント名には、20byte までの ASCII 文字が使用可能です。
ただし以下の文字を除きます。また、小文字のみ使用可能です（自動変換）。
　" / ¥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' `
コメントには、48byte までの ASCII 文字が使用可能です。ただし以下の文字は除きます。
　" ¥ : | , '
パスワードには、14byte までの ASCII 文字が使用可能です（スペースを含む）。

［共有フォルダ］



本装置の共有フォルダを管理します。「共有フォルダ」は、アカウントやグループがアクセスできるフォルダ（ディレクトリ）です。アクセス権は個々のアカウントに対してではなく、グループに対して設定します。

- アカウントは、アクセス権を持つ共有フォルダに対して、フォルダやファイルを作成できます。
- 複数のグループが、同じ共有フォルダへアクセス可能です。
- 共有フォルダ内に共有フォルダが存在する場合、外側の共有フォルダへのアクセス権を持つアカウントは、内側の共有フォルダへ同じ権限でアクセスできます。

共有フォルダ名リスト	すべての共有フォルダがリスト表示されます。
参照ボタン	フォルダの中身を参照します。
削除ボタン	選択した共有フォルダを削除します。
アクセス権ボタン	ユーザグループが選択した共有フォルダへのアクセス権を持つかどうか、またアクセス権限を表示します（読み取り専用 :Read-only か読み書き :Read-Write）。
プロパティ	リストから選択した共有フォルダのプロパティが表示されます。
作成ボタン	このボタンを使用すると、共有フォルダを作成できます。
更新ボタン	このボタンを使用すると、共有フォルダ名を変更できます。

出荷時に次の共有が設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

ADMIN_ONLY　ルートフォルダです。管理者がこのフォルダのコンテンツをバックアップすることで、すべてのデータがバックアップできます。
administrator グループは、常にこの共有フォルダに対する「読み書き :Read-Write」のアクセス権を持ちます。

PUBLIC　ADMIN_ONLY 下のフォルダです。すべてのアカウントが常にこの共有フォルダに対する「読み書き：Read-Write」のアクセス権を持ちます。

■新しい共有フォルダの作成

新しく共有フォルダを作成する場合は､共有フォルダのプロパティのクリアボタンをクリックし、以下の項目を入力します。
「共有フォルダ」は､アカウントやグループがアクセス可能な本装置上の共有フォルダです｡本装置の administrator 権限を持ったアカウントだけが共有フォルダを作成できます。共有フォルダ内にアクセス権を持つアカウントは、フォルダやファイルを作成できます。

共有フォルダ名　共有フォルダの名前を入力します。句読点、特殊文字（例 : * / | ￥）、2 バイト文字（日本語等）は、使用できません。また次の名前は使用できません。
homes、global、printers

コメント　（オプション）必要であれば入力してください。

パス　共有するフォルダのパスです。フォルダ名とパスを入力します。パス欄に記入したフォルダが存在しない場合は、新しく作成されます。［デフォルトのパス］を選択した場合、フォルダは ADMIN_ONLY フォルダに共有フォルダ名で作成されます。
［例］◉パスを指定する　/public/temp/

これらを入力し、［作成］ボタンをクリックして内容を保存します。作成された共有フォルダは、最初の画面の上側の共有フォルダリストに表示されます。

POINT

文字制限

本装置では、ファイル名、フォルダ名の最大長は半角で 126 文字となります。
また、パス全体の最大長は ASCII 文字の場合で 255 文字となります。

ファイル属性の継承

本装置では、フォルダの属性（読み取り専用、アーカイブ、システム、隠しファイル）は継承されません。
また、ファイル名の属性（読み取り専用、アーカイブ、システム、隠しファイル）については次のとおりです。
　読み取り専用、隠しファイル属性：継承されません
　アーカイブ、システム属性　　　：継承されます（属性の変更はそのファイルの所有者のみが可能）
通常、ファイルの所有者は装置にそのファイルを保存したユーザになります。

■共有フォルダの編集、削除

最初の画面の上側にある共有フォルダ名リストで共有フォルダ名を選択すると、その共有フォルダのプロパティが下側に表示されます。選択した共有フォルダを削除する場合は、[削除]ボタンをクリックしてください。共有フォルダ名、コメントを変更する場合は、新しい内容を入力後、「更新」ボタンをクリックしてください。

重 要

共有フォルダの削除では、共有フォルダに設定されていたフォルダおよびフォルダ内のファイルは削除されません。フォルダおよびファイルを削除する場合は、Administrator 権限を持ったアカウントが、ネットワークコンピュータの ADMIN_ONLY フォルダから行ってください。
パスは、変更できません。

POINT

ADMIN_ONLY は、修正・削除ともできません。

■その他の機能（検索）

共有フォルダリスト上にカーソルを置き、キーボードの文字を押すと、その文字を頭文字として持つ共有にジャンプします。

■入力可能文字数・制限

共有フォルダ名には、12byte までの ASCII 文字が使用可能です。ただし以下の文字は除きます。

" / ¥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' ` $ % @

コメントには、48byte までの ASCII 文字が使用可能です。ただし以下の文字は除きます。

" ¥ : | , '

ディレクトリ名には、以下の文字を除く ASCII 文字が使用可能です。

" / ¥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' `

グループ名には、20byte までの ASCII 文字が使用可能です。ただし以下の文字は除きます。

" / ¥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' ` $ % @

■アクセス権限の設定

グループのアクセス権限を設定します。「読み取り専用 :Read-only」または「読み書き :Read-Write」のいずれかを選択します。デフォルトは「読み書き :Read-Write」です。
既存の共有フォルダに対して、グループの関連付けの設定・変更を行う場合は、「共有フォルダ」で共有名を選択し、「アクセス権」ボタンをクリックします。
Administrator グループは常にすべての共有フォルダに対して、読み書き権限を持ちます。



共有フォルダ名	共有フォルダ画面で選択した共有フォルダ名を表示します。
アクセス可能なグループ	「アクセス可能なグループ」リストには、グループがアクセス可能なグループを表示します。アクセス権限は、R=Read Only（読み取り専用）、R/W=Read-Write（読み書き）で表示されます。
その他のグループ	「その他のグループ」リストにはその他のすべてのグループが表示されます。

【アクセス権限の追加】

右側のリストからグループを選択して「<<Read」をクリックすると読み取り専用の権限が与えられます。「<<R/W」ボタンをクリックすると読み書きの権利が与えられます。複数のグループを選択する場合、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

【アクセス権限の削除】

左側のリストからグループ名を選択して「なし >>」ボタンをクリックします。複数のグループを選択する場合「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

[GUEST 設定]

■ GUEST アカウントの設定

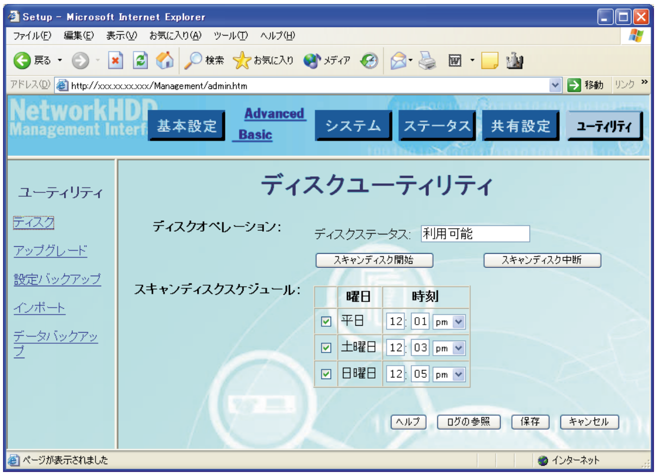
チェックボックスをチェックすることにより、登録されていないアカウントを「guest」としてログインさせることが可能になります。ただし、「guest」にパスワード設定されていない場合のみ有効となります。デフォルトでは、チェックボックスはチェックされています。



ユーティリティグループ

これらのユーティリティは、通常の操作では必要ありません。

[ディスク]



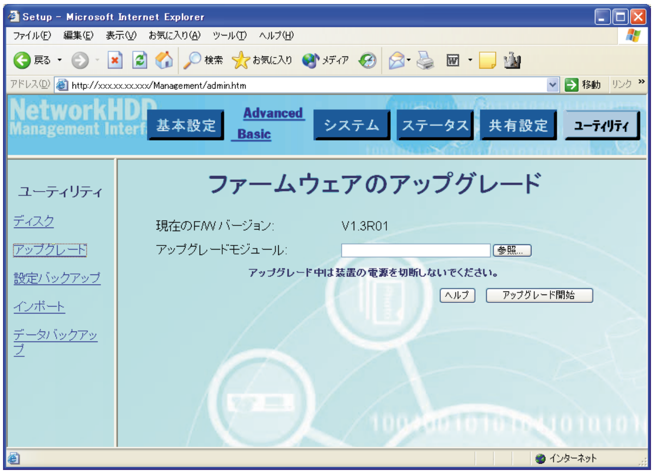
■ディスクオペレーション

ディスクチェックプログラムを実行し、ファイルシステムを検査します。
［スキャンディスク開始］ボタンをクリックすることで、ファイルシステムの検査を開始します。

■スキャンディスクスケジュール

スキャンディスクを行う曜日（平日、土曜日、日曜日）、時間を指定できます。時間を設定し、左のチェックボックスをチェックしてください。
設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

[アップグレード]



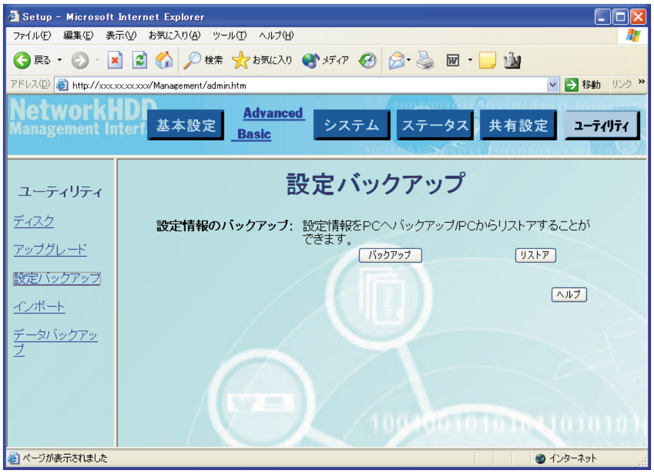
本装置のファームウェアのアップグレードを行います。アップグレードファイルをフルパス（例：C:¥downloads¥utilities¥DS36799.bin）で指定し、［アップグレード開始］ボタンをクリックします。アップグレード操作中は、本装置を使用できません。またこの接続を含めたすべての接続は、切断されます。本装置は、アップグレードが終了すると自動的に再起動します。

重要

［アップグレード開始］ボタンをクリック後は、「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示され、本装置が再起動するまで、他の操作を行わないでください。
アップグレードが正常に終了せず、不具合の原因となる場合があります。

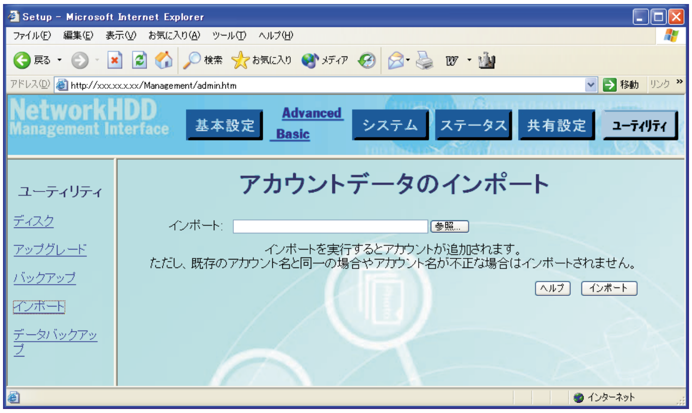
[設定バックアップ]

設定情報のバックアップおよびリストアを行います。



詳細は、「第4章　装置のバックアップ」の「2 設定情報のバックアップ」を参照してください。

[インポート]



CSV 形式のアカウント情報をインポートします。
アカウント情報ファイルをフルパス（例：C:¥document¥users.csv）で入力、または参照ボタンから指定し、［インポート］ボタンをクリックします。

POINT

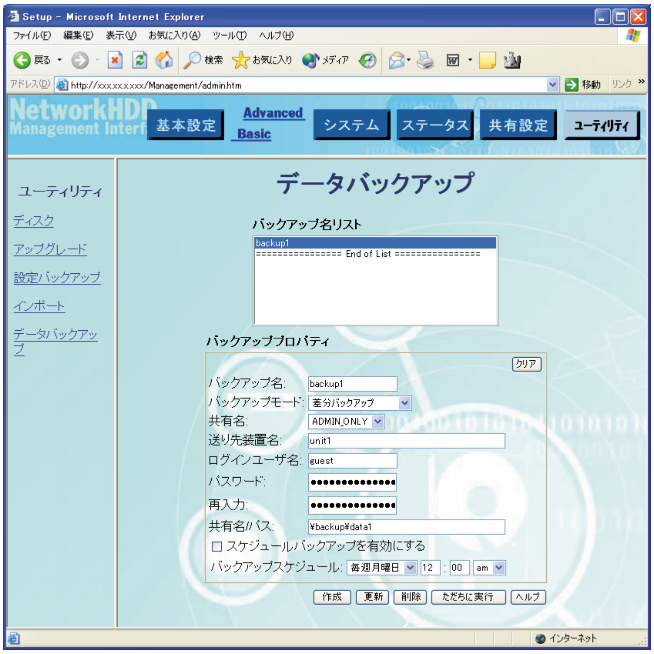
既存のアカウント名と同一の場合やアカウント名が不正な場合は、インポートされません。パスワードとコメントは無しの状態になります。

（アカウント情報作成例）
下記のようにアカウント名を記述し、CSV 形式で保存します。

	A	B	C
1	User1		
2	User2		
3	User3		
⋮	⋮		

注：CSV 形式で保存すると、アカウント名間は改行コードで区切られます。

[データバックアップ]



共有フォルダ内のデータを他の装置にバックアップします。

■バックアップ名リスト

設定済みのバックアップ名のリストです。バックアップ名は 5 つまで登録可能です。

■プロパティ

バックアップ名	バックアップ名は 5 つまで登録可能です。
バックアップモード	コピーモードは 3 種類あり、バックアップ名ごとに選ぶことができます。 ・フルバックアップ　送り元の共有内のデータを送り先へコピーします。送り先に同名のファイルやフォルダが存在する場合にはすべて上書きされます。 ・差分バックアップ　送り元の共有内のデータを送り先へコピーします。送り先に同名のファイルやフォルダが存在する場合には、送り元ファイルの方が新しい場合に限り上書きされます。 ・拡張差分バックアップ　差分バックアップに加え、送り元に存在しないファイルが送り先に存在する場合には、送り先ファイルを削除します。
共有名	装置の共有リストから選択します。
送り先装置名	送り先の装置のアドレスです。
ユーザ名	送り先装置に登録されているアカウントが必要です。

パスワード、再入力	送り先装置に登録されているパスワードが必要です。
共有名 / パス	送り先装置の共有名、およびパスを入力します。 （例：￥○○○￥○○○） 句読点、特殊文字、2 バイト文字（日本語等）は、使用できません。

■バックアップスケジュール

スケジュールバックアップを有効にする	チェックボックスを使い、スケジュールバックアップの有効 / 無効を選択します。
バックアップスケジュール	バックアップ名ごとに異なるスケジュール、時刻を設定できます。

■ボタン操作

クリア	フォームのクリア、新しい送り先装置用に空のフォームを表示します。
作成	バックアップ名を追加します。
更新	選択したバックアップ名の情報を更新します。
削除	選択したバックアップ名を削除します。
ただちに実行	選択したバックアップがただちに実行されます。

Memo

4

第 4 章

装置のバックアップ

1 データのバックアップ

お使いのバックアッププログラムを使用してどのフォルダでもバックアップできます。Windows 上で本装置の全ファイルをバックアップするには、エクスプローラから administrator グループのアカウントで ADMIN_ONLY フォルダを選択してファイルコピーすることでバックアップをとることができます。

POINT

この操作では、設定情報はバックアップされません。
設定情報は、次項「2 設定情報のバックアップ」の操作で、バックアップをとることができます。

POINT

設定情報とは、以下の内容です。
・装置名
・Microsoft ネットワーク情報（ワークグループ名等）
・アカウント情報（パスワードを含む）
・グループ情報
・共有情報
・アカウント／グループ／共有相互のアクセス関連情報

重要

エクスプローラ等、他のユーティリティによりデータのバックアップを行った場合、そのバックアップデータの復元を行うと、データの容量制限の設定が初期状態に戻ります。

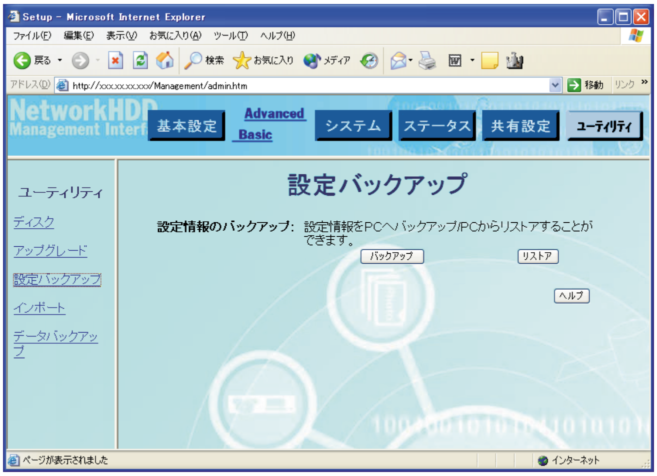
重要

OS によっては、容量制限機能で設定した容量を超えるファイルをコピーしようとすると、正常にコピーされません。

2 設定情報のバックアップ

設定情報は、Web Setup ユーティリティのユーティリティグループの設定バックアップからバックアップすることができます。

バックアップ画面から、「バックアップ」または「リストア」ボタンをクリックすると、バックアップ／リストアそれぞれの画面が表示されます。



バックアップする情報は下記の項目です。

- 装置名
- Microsoft ネットワーク情報（ワークグループ名等）
- アカウント情報（パスワードを含む）
- グループ情報
- 共有情報
- アカウント／グループ

■バックアップ手順

1 ［バックアップ］ボタンをクリックします。

ファイルのダウンロード画面が表示されます。

2 ［保存］ボタンをクリックします。

保存フォルダ名とファイル名を入力するダイアログが表示され、自由に設定して保存することができます。
ファイルが保存された後、以下のメッセージが表示されます。
「ダウンロードの完了」

3 ［閉じる］ボタンをクリックします。

■リストア手順

1 **［リストア］ボタンをクリックします。**
設定ファイルのアップロード画面が表示されます。

2 **［参照］ボタンをクリックします。**
ファイルの選択画面が表示されます。
バックアップにより保存したファイルを選択します。

3 **［アップロード開始］ボタンをクリックします。**
リストアが実行されます。
バックアップにより保存したファイルより、設定情報がリストアされます。
リストア後「設定ファイルのアップロードが完了しました」とメッセージが表示され、装置はリブートされます。

4 **「閉じる」ボタンをクリックして、Web Setup ユーティリティを終了します。**
本装置はリブートされるため、リブートが完了するまではアクセスできません。

POINT

Admin パスワードについて
Microsoft ネットワークで使用する Admin アカウントのパスワード情報はバックアップされますが、Web Setup ユーティリティで使用するパスワードは保存されません。
リストア後に Web Setup ユーティリティの Advanced 設定で、パスワードの再設定が必要です（リストア後はパスワードは設定されていない状態となります）。

POINT

リストア後の注意事項
設定情報のバックアップ時の共有フォルダ設定の構成とデータのバックアップ時の共有フォルダ設定の構成が異なるとき、構成によって共有フォルダに設定していたパスが存在しない状態になることがあります。
この場合、実在のフォルダに対する共有フォルダ設定が有効になっていませんので、共有フォルダ名リスト上の該当共有フォルダが赤字で表示（警告）されます。
該当共有フォルダを選択し、パスを指定して更新を実施してください。

5

第 5 章

ユーザの環境設定

1　アカウントパスワードの変更

管理者が本装置上で有効なアカウント名を設定すると、Windows ユーザは次の手順に従ってパスワードを変更できます。

1. **Web ブラウザを起動します。**

2. **［アドレス］ボックスに次のように入力します。**

   http://<*ip_address*>/

   <ip_adress> には、本装置の IP アドレスを指定します。

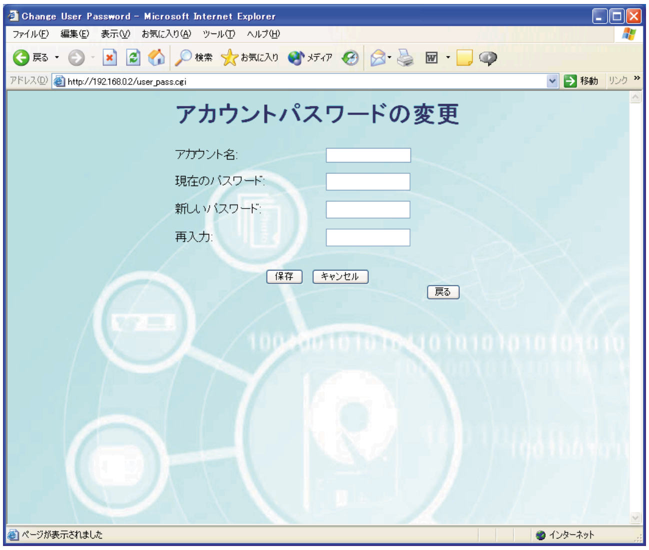
   例：http://192.168.0.2/

POINT

本装置の IP アドレスが分からない場合は、管理者に問い合わせてください。



3 ［アカウントパスワードの変更］ボタンをクリックします。



4 既存のアカウント名、パスワード、新しいパスワードを入力します。

5 設定を保存し、Web ブラウザを閉じます。

POINT

パスワード管理

ログオンは、一度だけとする方が便利です。これには、Windows、本装置、他の装置で「アカウント名」を同じにする必要があります。本装置のアカウントを作成または変更できるのは管理者のみですが、Windows のアカウント名は簡単に変更できます。

- どの「アカウント名」でもログオンできます。Windows がアカウント名を認識しない場合は、新しいユーザプロファイルが作成されます。
- Windows のパスワードは［コントロールパネル］→［パスワード］→［Windows パスワードの変更］で変更できます。

5

2　共有フォルダ／ファイルの参照

1　Web ブラウザを起動します。

2　［アドレス］ボックスに次のように入力します。

http://<*ip_address*>/

<ip_adress> には、本装置の IP アドレスを指定します。

例：http://192.168.0.2/

POINT

本装置の IP アドレスが分からない場合は、管理者に問い合わせてください。



3　［共有フォルダ／ファイルの参照］ボタンをクリックします。

共有フォルダ、ファイル、基本的な情報が表示されます。

ファイル管理には、エクスプローラ等のファイルマネージャを使用してください。

POINT

OS によっては、参照したときに「プリンタ」が表示されることがあります。

3 ディスクの使用

本装置のディスクを使用するには、ドライブをアクセスしたい本装置の各フォルダに「対応付ける」必要があります。そうすると「ドライブ」がすべての Windows プログラムで使用可能となります。手順は、次のとおりです。

1 **デスクトップの［ネットワークコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**

2 **［ネットワークコンピュータ］の画面から、本装置を探します。一覧に表示されない場合は、［ネットワーク全体］をダブルクリックします。次に本装置があるワークグループをダブルクリックします（デフォルトでは本装置は［Workgroup］内にあります）。**

3 **［本装置の装置名］アイコンをダブルクリックします。**

4 **アクセス権のあるフォルダ（ディレクトリ）を右クリックし、［ネットワークドライブの割り当て］を選択します。**

5 **このフォルダのドライブを選択し、［ログオン時に再接続］ボックスをチェックします（これをしないと、Windows を終了したときに割り当てが失われます）。**
次に［OK］をクリックします。

6 **このドライブは Windows エクスプローラで使用可能となり、すべての Windows アプリケーション内の「ファイルを開く」または「名前を付けて保存」ダイアログで使用できます。**

POINT

フォルダにアクセスするとき、パスワードの入力を求めるダイアログが表示されることがあります。
「Windows ログオン名」「パスワード」と本装置の「アカウント名」「パスワード」を同一にしてください。

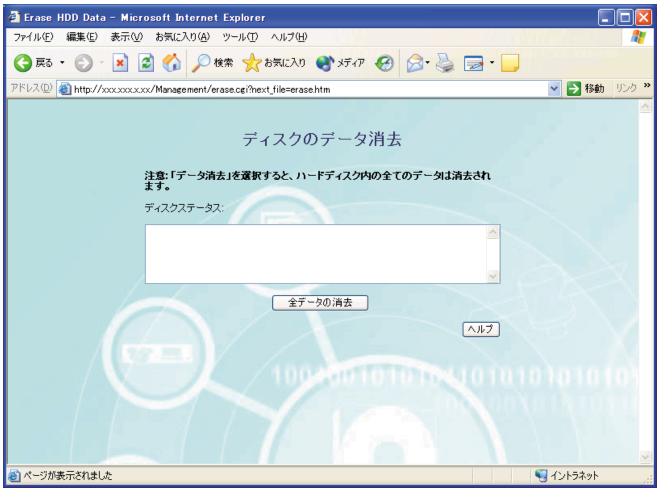
Memo

6

第 6 章

データ消去

本装置を廃棄する場合に第三者へのデータ漏洩を防止するために、ディスクのデータ消去でハードディスク上のすべてのデータを消去することができます。消去方法は、ランダムデータをハードディスク全面に 3 回書き込みます。
本機能は、誤消去を防止するために Web Setup ユーティリティのメニューには登録されていません。また、一度消去すると復旧できませんので、実行の判断は慎重に行ってください。



■ディスクのデータ消去手順

1 Web Setup ユーティリティを起動します（起動方法は「第 3 章 運用と管理」を参照してください）。

2 ［アドレス］ボックスに次のように入力します。

http://<ip_address>/Management/erase_disk.htm
<ip_address> には、本装置の IP アドレスを指定します。
例：http://192.168.0.2/Management/erase_disk.htm

POINT

大文字と小文字は区別されますので、正確に入力してください。

3 ［全データの消去］ボタンをクリックします。

実行確認のダイアログが 2 回表示されますので、実行する場合はそれぞれ［OK］ボタンを押してください。実行しない場合は、［キャンセル］を押してください。

4 データ消去が実行されます。

消去実行中は、ディスクステータスに進捗状況が表示されます。

POINT

データ消去には約 19 時間かかります。

7

第 7 章

トラブルシューティングと FAQ

Q　NetworkHDD Setup ユーティリティで本装置が表示されない。

A　次の項目をチェックします。

- 本装置が正しくインストールされ、LAN 接続にも問題なく、電源がオンであることを確認します。
- コンピュータと本装置が同じネットワークセグメント上にあることを確認します。
- コンピュータに　TCP/IP　ネットワークプロトコルがロードされていることを確認します。
  Windows では［コントロールパネル］→［ネットワーク］を使用して行います。TCP/IP プロトコルがリストボックスに表示されない場合は、［追加］→［プロトコル］→［Microsoft］→［TCP/IP］を使用して追加します。
  次に TCP/IP のエントリを選択し［プロパティ］をクリックして、［IP アドレス］タブを設定します。
- LAN に DHCP サーバがある場合は、［自動的に IP アドレスを取得する］を選択できます。
- そうでない場合は［IP アドレスを指定する］を選択し、［IP アドレス］と［サブネットマスク］の値を入力してください。本装置の IP アドレスをデフォルトで使用する場合に使用できる［IP アドレス］の範囲は 192.168.0.1 ～ 192.168.0.254 までで（192.168.0.2 を除く）、［サブネットマスク］は 255.255.255.0 です（本装置のデフォルトの IP アドレスは 192.168.0.2 で、サブネットマスクは 255.255.255.0 です）。
  各ホストには、固有のIPアドレスと同じサブネットマスクが必要なことに注意してください。

Q　NetworkHDD Setupユーティリティを使用していて、本装置は一覧に表示されるが［管理（Web ブラウザ)］ボタンが使用できない。

A　本装置の IP アドレスがお使いのコンピュータと互換性がない場合に起こります。
［基本設定］ボタンを使用して、本装置にお使いのコンピュータと互換性のある IP アドレスとネットワークマスク（サブネットマスク）を割り当て、一覧を再表示します。

Q 本装置を設定したが、［ネットワークコンピュータ］に表示されない。

A ［スタート］→［検索］→［他のコンピュータ］を使用して、本装置の名前を入力してみてください。
これで表示されない場合は、［コントロールパネル］→［ネットワーク］を使用して次をチェックします。

- TCP/IP プロトコルがインストールされていることを確認します。
- ネットワークのバインドをチェックします。
  - TCP/IP プロトコルがネットワークカード(NIC)にバインドされていることを確認します。
    ネットワークカードを選択して［プロパティ］をクリックし、［バインド］タブを選択します。TCP/IP がバインド（チェック）されていない場合は、チェックマークを付けます。
  - TCP/IP プロトコルが［Microsoft ネットワーククライアント］サービスにバインドされていることを確認します。
    ネットワークカードの TCP/IP エントリを選択して［プロパティ］をクリックし、［バインド］タブを選択します。［Microsoft ネットワーククライアント］がバインド（チェック）されていない場合は、チェックマークを付けます。
- ルータがない場合は、IP アドレスが本装置のものと互換性があるかをチェックします。IP アドレスは本装置と同じアドレスの範囲で、同じ［サブネットマスク］を使用している必要があります。
- ルータがある場合は、［ゲートウェイ IP アドレス］が正しく設定されていることを確認します。正しい値については LAN 管理者に問い合わせてください。

Q ［ネットワークコンピュータ］で本装置の装置名をクリックすると、パスワードの入力を求める画面が表示される。

A 次の場合に表示されます。

- この共有フォルダへのアクセス権がありません、管理者に依頼し、アクセス許可をもらいます。
- コンピュータ上で使用したログイン名を本装置側で認識できず、guest のアクセス権を持つアカウントとして認識（初期設定値の場合、everyone グループ）されました。
  この場合は次の方法で対処してください。
  - 本装置上の共有フォルダへアクセス可能なグループを everyone と設定する
  - 共有フォルダへアクセス可能な既存のグループに guest アカウントを追加する
  - 共有フォルダへアクセス可能な既存のグループに、コンピュータへログイン時のアカウント名を追加する
- コンピュータ上で使用したログイン名を本装置が認識していますが、パスワードは認識されていません。
  本装置のパスワードを入力するか、コンピュータへログイン時のパスワードと本装置のパスワードを同じ設定にしてください。

Q Web インタフェースの使用時にデータによって画面に収まらないものがあり、スクロールバーも表示されない。

A Web ブラウザまたは Windows で非常に大きなフォントを使用したときにのみ発生します。フォントサイズを縮小してください。

- Web ブラウザでは［表示］→［フォント］を選択してフォントサイズを変更します。
- Windows では［コントロールパネル］→［画面］→［設定］→［詳細］を使用してフォントサイズを変更します。［小さいフォント］または［大きいフォント］（125%）の 2 つの標準設定のどちらかが使用できます。

第 8 章

付録

■装置仕様

型名	FMHD-12L
外形寸法	210mm（W）× 274mm（D）× 66mm（H）
質量	2.1kg
動作温度	5 〜 35 ℃
動作湿度	20 〜 80%RH（結露しないこと）
保存温度	0 〜 50 ℃
保存湿度	8 〜 80%RH（結露しないこと）
ネットワークプロトコル	Microsoft ネットワーク（NetBIOS over TCP/IP）／ FTP ／ NTP 管理ツール（HTTP、SMTP）
同時アクセス数	50 クライアント
ネットワークインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX オートネゴシエーション RJ45 コネクタ
対応 OS	Microsoft Windows 98/Me/NT4.0（workstation）/2000（Professional）/ XP（HomeEdition/Professional）
対応ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 5.0SP2, 5.5SP2, 6.0SP1 Netscape Navigator 4.78, 6.2
LED	背面：LAN 接続ステータス× 2 前面：ステータス LED × 5
電源	AC 100V　50 〜 60Hz
記憶容量＊1	122GB
エネルギー消費効率＊2／区分名	0.00025 ／ B 区分

＊ 1：記憶容量は、1GB=1000 × 1000 × 1000Byte 換算です。
＊ 2：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定法により測定された消費電力を、省エネ法で定める記憶容量で除いたものです。

■ソフトウェア仕様

各パラメータの制限

<table>
<tr><th></th><th>値</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>装置名</td><td>14byte までの ASCII 文字。
ただし以下の文字、およびすべてが数字の装置名は除く
" / ￥ [ ] : ; | = . , + * ? < > *space* ' ` ( ) # $ %</td><td>FJxxxxxx
（xxxxxx は、MAC アドレスの下位 6byte）</td></tr>
<tr><td>コメント</td><td>48byte までの ASCII 文字。
ただし以下の文字は除く
" ￥ : | , '</td><td></td></tr>
<tr><td>ワークグループ名</td><td>14byte までの ASCII 文字。
ただし以下の文字は除く
" / ￥ [ ] : ; | = . , + * ? < ></td><td>Workgroup</td></tr>
<tr><td>E-Mail 通知先アドレス [1] ～ [3]</td><td>48byte までの E-mail アドレス（ASCII 文字）
ただし以下の文字は除く
" / ￥ [ ] : ; | = , + * ? < > ' `</td><td></td></tr>
<tr><td>E-Mail 表題</td><td>48byte までの ASCII 文字。
ただし以下の文字は除く
" / ￥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' `</td><td></td></tr>
<tr><td>アカウント名</td><td>20byte までの ASCII 文字。
ただし以下の文字を除く
" / ￥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' `
小文字のみ使用可能（自動変換）</td><td>guest
admin</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>14byte までの ASCII 文字（スペースを含む）</td><td></td></tr>
<tr><td>グループ名</td><td>20byte までの ASCII 文字。
ただし以下の文字は除く
" / ￥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' ` $ % @</td><td>everyone
administrator</td></tr>
<tr><td>共有フォルダ名</td><td>12byte までの ASCII 文字。
ただし以下の文字は除く
" / ￥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' ` $ % @</td><td>ADMIN_ONLY：
administratorグループのみアクセス可
public：
全ユーザがアクセス可</td></tr>
<tr><td>ディレクトリ名</td><td>以下の 18 文字の ASCII 文字を除く。
" / ￥ [ ] : ; | = . , + * ? < > ' `</td><td></td></tr>
</table>

特殊文字サポート一覧（ディレクトリ／ファイル名）

■対応文字

Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ
ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ
№ ℡ ㈱

■サポート外文字

≒ ≡ ∫ √ ⊥ ∠ ∵ ∩ ∪ ￢ ￢

纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈鋹曻彅￤仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰偂傔僴僘兊
兤冝冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆坙坥垬埈埇﨏
塚增墲夋奓奛奝奣妤妺孖寀甯寘寬尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊惞惕愠惲愑愷
愰憘戓抦揵摠撝擎敎昀昕昻昉昮昞昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰
橫橆橳橾櫢櫤毖氿汜沆汯泚洄涇
浯涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾犱
犾猤猪獷玽珉珖珣珒琇珵琦琪琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤硺礰礼神
祥禔福禛竑竧靖竫箞精絈絜綷綠緖繒罇羡羽茁荢荿菇菶葈蒴蕓蕙
蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟諸諶譓譿賰賴贒赶﨣軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗釞釭釮釤釥鈆鈐鈊鈺
鉀鈼鉎鉙鉑鈹鉧銧鉷鉸鋧鋗鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤鏆鏞鏸鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻
靃靍靏靑靕顗顥飯飼餧館馞驎髙
髜魵魲鮏鮱鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑

索引

か行

さ行

た行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

Memo

ハードディスクユニット -120GB（LAN）
FMHD-12L

オンラインマニュアル

B5FY-3391-01 Z0-00

発　行　日　　2002 年 11 月
発行責任　　富士通株式会社

●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。